

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆ボーダーレス時代の海外化

これからの時代、過去の延長では手間がかかる取引ばかりです。過去の事業や取引方法にこだわってはいは取引高が小さくなり、取引企業も減少します。

1. 『事業規模を拡大する』

事業規模が小さくならないようにするには、下記の2つが必要となります。

- ◎高付加価値化のビジネス戦略、いわゆる商品戦略の立て直し
- ◎ビジネス方式の革新（営業手法を変える）

2. 『TPPの影響』

現在は、保護貿易になっていますが、TPPではその保護が無くなる方向にあり、結果的に国内外も同様です。そのため、経営の総見直しが必要です。

3. 『若手人材の育成』

◎人材の2極化：現在の若手は、知識はあるが知恵を持っていません。これからは「仕組みを創る人」と「仕組みの中で動く人」に2極化していくでしょう。時代の変化に合わせて仕組みを創ることができる人材が必要であり、いなければ育てなければいけません。

◎時代を読む：仕組みを創る（仕組みを創る人になる）には、時代を読むことが必須で、そのためには海外に行き体感することが一番早い方法です。しかし、それにはコストも時間もかかるのでまずは色々な新聞を読むこと。そして、どういう読み方をするかが重要です。

◆相連報+即返事が組織の生命線

これからの時代は、分散職場になります。face-to-face で協働考働は出来にくくなります。双方向カメラを使いながら「ワンフロアの職場づくり」も挑戦課題です。当分は、ウェブ等を使つての相連報+即返事する方法が現実的なのでしょう。

激変環境下でお互いに仕事する時代である現代では結果がからでは遅いのです。事前予測対応の原則での考働が必須になります。ましてや定型の仕事だけでは生きていけません。結果が出る前の状況適応考働を関係者がそれぞれ遂行するためには、常時関係者が相連報+即返事する情報（データではない）伝達が仕事の中に組み込まれていなければいけません。

◆日越産業プラットフォームのための視察交流

日越産業プラットフォーム構築のための視察交流を11月に開催します。ホーチミンとダナンにて病院や大学との交流会や講演会、VCCI（ホーチミン商工会議所）やICT関係とのビジネス交流会を予定しております。交流内容につきましては、またお知らせします。

◆ベトナム木材協会講座開始

10月から月1回、ベトナム木材協会 品質管理実践講座が始まりました。講義内容は、①なぜいまベトナム企業が物づくりのレベルアップに取り組まなければならないのか②物づくりでベトナム企業に取り組まなければならない課題③日本方式の品質向上が役に立つ

質疑応答では Q1.品質向上出来たら日本企業と取引出来るか→A1.取引先を掴むのはマーケティングの問題だが、品質がずば抜けて良い企業を日本企業は探しており、特に、受け入れ検査をしなくて済む企業、日本で手直ししなくて済む企業を探している。

Q2.欧州は日本に比べて高く買ってくれるし品質も日本ほど厳しくない、日本はどうしてそうなのか→A2.外国の皆さんが日本製品を喜んで買い求める要因が、ここにある。Q3.日本の品質要求に比べようとするとコストが上がる→A3.投資がない仕事の改革を目指さないからこのようなことが起こる。その答えは、この講座にある。

◆立場によって考働のあり方が違う

仕事は、立場（主担、分担、補佐、支援、協力）により、考働のあり方が変わります。

主担は、方法手段になる最適な仕事を考え関係者を巻き込みながら受持つ役割を必達する。

分担は、主担と共通理念を持ち役割を分担自走し、目的必達を協働する。主担に何かある時は、主担を代行する。

補佐は、主担から分担作業の命を受け分担の主旨を理解し目的必達に従事する。

支援は、主担から作業応援の命を受け、求められている応援作業の範囲、レベル、タイミングを理解して作業に従事する。

協力は、主担等からの作業の手伝い要請を受けて、要請内容を正しく理解して指示通りに作業する。

自分がどの立場にあるかの認識を間違えると、自分はずっとつもりでも仕事をしたことにはなりません。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ